

令和元年度第2回森林整備と財源のあり方検討委員会 次第

日時：令和2年3月27日（金）午後1時30分から

会場：県庁行政庁舎508会議室

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

（1）公的関与による森林整備の内容について（資料1）

①技術専門部会の検討結果

②参考意見聴取

- ・森林整備と水源かん養機能について

新潟大学自然科学系農学系列 准教授 ウィタカ アンドリュー 氏

- ・野生獣対策としての緩衝帯整備について

長岡技術科学大学工学部生物機能工学専攻 准教授 山本 麻希 氏

（2）森林整備に関する財源のあり方について（資料2）

（3）新たな財源の必要性等について（資料3）

4 閉 会

[配付資料]

資料1 公的関与による森林整備の内容について

～技術専門部会の検討結果について～

- 1-1 公的関与が必要な森林のあるべき姿と必要な施業内容
- 1-2 標準的な施業モデルによる総事業費の試算
- 1-3 公的関与が必要な森林の整備に係る事業費
- 1-4 公的関与が必要な森林整備に係る事業費の試算

資料2 森林整備に関する財源のあり方について

2-1 森林環境譲与税等との関係について

- (1) 森林環境譲与税の概要
- (2) 森林経営管理制度の概要
- (3) 森林環境譲与税の使途に関する林野庁の見解
- (4) 県内市町村等における森林環境譲与税の活用状況
- (5) 他府県の超過課税と森林環境譲与税との関係
- (6) 技術専門部会の意見
- (7) 公的関与が必要な森林整備に係る財源と譲与税との関係整理

2-2 森林整備に関する既存事業との関係について

- (1) 治山事業の概要
- (2) 造林関係事業の概要
- (3) 里山整備関係事業の概要

資料3 新たな財源の必要性等について

- 3-1 新たな財源の必要性について（まとめ）
- 3-2 財源確保についての意見